

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	神奈川県自閉症協会		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	自閉症療育者のためのトレーニングセミナー		
事業の目的	自閉症という障害が非常に分かりにくく、また難しい障害であるため神奈川県自閉症協会は、療育者に自閉症の人たち一人ひとりに対応するための療育技術の習得と、その理論を学んでいただくことを目的に、TEACCHにおける初任者トレーニングをモデルにした療育者訓練プログラム（自閉症のモデル児・者の協力を得て、関わり方の体験実習を伴う）による5日間の実践実技研修会を開催します。		
事業概要	<p>【基調講義】※オンライン開催</p> <p>講義「TEACCHプログラムの紹介と解説」「自閉症の学習スタイル」「構造化された指導」講師:宇野 洋太 氏 (ZOOM)自閉症の特性の理解から始まり、翌週から実習で使う「構造化」の理論を学びます</p> <p>【1日目】◇講義 「評価」「自立課題」講師:中山 清司氏 協力家族による「ペアレントトーク」初日はモデル保護者の話を聴き家族との連携を考えます。</p> <p>【2日目】※2日目～5日目は会場にて、基本的にグループごとの受講になります。 ◎実習は「自立課題」「構造化」:自閉症の特性に合わせてわかりやすく支援して教えていくという考え方の中で、彼らの自立を促すことを学びます。◇講義は翌日の実習内容である「生活場面の構造化」講師:中村 公昭 氏</p> <p>【3日目】◎実習は「生活スキル」:構造化の支援を彼らの日常生活にどのように応用するかがテーマになって、日常場面へ移行させていくことを学びます。◇講義は翌日の実習内容である「コミュニケーション」講師:中山 清司 氏</p> <p>【4日目】◎実習は「コミュニケーション」:自閉症の人がいかに周囲の人とやりとりをすることに困難を感じているか、そして、いかにそこを支援していくかについて学びます。 ◇講義は翌日の実習内容である「余暇と社会的活動」講師:安倍 陽子 氏</p> <p>【5日目】◎実習は「余暇と社会的活動」:自閉症の人たちの人生を豊かにする余暇について学び、生活を楽しむということについて考えます。◇講義「明日の構造化のために」講師:中山 清司 氏</p> <p>最終講義は、自閉症の特性についてももう一度深く考え、現場で向かい合っている一人ひとりの自閉症の方に合わせた構造化をどのように準備するかを学びます。</p>		
成果や課題	<p>トレーニーの方々は数人で一組のグループになり、毎日変わる課題や自分に与えられるさまざまな役割をこなしながら、チームワークを発揮して仕事をすることを学びます。時に協力し、時に意見を戦わせながら、自閉症の人たちを観察し、そこから仮説を立て、実践し、さらにその結果からまた組み立てて実践していくセミナーを経験して頂きます。自閉症の人たちを中心に試行錯誤していただく毎日と、そこで出会った仲間の存在は、トレーニングセミナーを終えて現場に戻ってからの、トレーニーの方々の実践への貴重な手応えを提供するものになると思います。</p>		
今後の展望	<p>このセミナーを通し支援者間の横の連携を築き、自閉症スペクトラムの方の標準的な支援をスタンダードなものにしていきたいと思えます。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			